

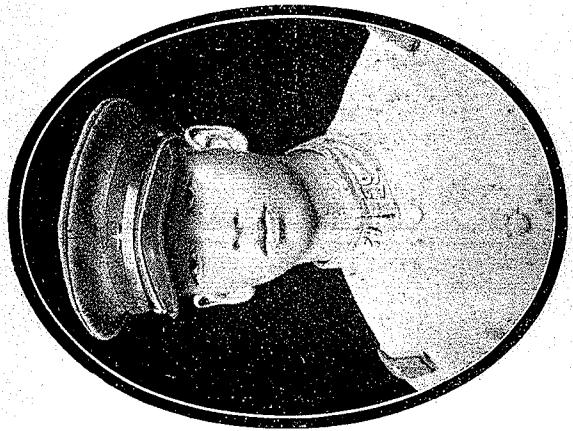
員  
會  
死  
戰  
的  
譽  
名



故 矢數壹作君  
明治 39 年 1 月 2 日生  
昭和 2 年 3 月 名古屋高等工業學校土工學科  
卒業  
陸軍築城本部勤務  
昭和 18 年 5 月 29 日 アツッ島に於て戦死



故 中村重信君  
大正 9 年 9 月 11 日生  
昭和 16 年 3 月 金澤高等工業學校土木科卒業  
内務省新潟土木出張所勤務  
昭和 18 年 8 月 1 日 京都陸軍病院高野川臨時分  
院に於て戦病死



故 氏家哲郎君  
大正 8 年 12 月 1 日生  
昭和 16 年 12 月 仙臺高等工業學校土木工學科  
卒業  
内務省横濱土木出張所勤務  
昭和 18 年 2 月 16 日 ソロモン戦線に於て戦死

## 名譽の戦死會員



故 清水元治君

大正 9 年 1 月 5 日生

昭和 16 年 3 月 名古屋高等工業學校土木科卒業

内務省名古屋土木出張所勤務

昭和 18 年 1 月 19 日 南方戰線に於て戰死



故 中田富二君

明治 34 年 5 月 10 日生

大正 13 年 3 月 京成高等工業學校土木科卒業

海軍施設本部勤務

昭和 18 年 2 月 8 日 本州南方海上に於て戰死



故 菅野公二君

大正 6 年 8 月 27 日生

昭和 13 年 3 月 仙臺高等工業學校卒業

日本發送電株式會社勤務

昭和 17 年 12 月 9 日 ガダルカナル島に於て戰死

# 會 告

## 「土木學會誌論文集」の刊行に就て

本會に於ては現下の非常時局に對應し、「土木學會誌」をして一般會員に興味多く親みやすきものたらしむると共に割當てられたる用紙を有效適切に利用せんが爲に、明年一月號より特に學術的且つ専門的な論文は「土木學會誌」には登載せず、之を別個に取纏め「土木學會誌論文集」として毎冊約 100 頁のものを年 4 回 (3, 6, 9, 12 月) 刊行することに致しました。本論文集は豫約により會員中の希望者に下記の規定に従ひ實費にて頒布することに致しましたから何卒多數豫約御申込を願ひます。

論文集の刊行に伴ひ 従來通り毎月發行の「土木學會誌」は明年 1 月號より其の頁數は幾分減少しますが、其の編輯方針を一新し内容に於ては却つて 従前より豊富ならしめ 會員諸賢の御期待に副ひたいと思ひます。

尙「土木學會誌」及び「土木學會誌論文集」に對しては從前にも増し奮つて御寄稿を願ひます。

### 「土木學會論文集」頒布規定

1. 土木學會誌論文集は會員中の希望者に年極豫約に依つて頒布す。
2. 年極豫約費は金 4 圓とし、豫約申込と同時に 振替貯金又は適宜の方法に依り本會に拂込むこと。
3. 豫約申込期限 每年 1 月末日

年極豫約者以外の會員にして特定の論文集を希望される場合には、殘部ある限り頒布す。

土木學會

# 會 務 報 告

第 29 卷 第 11 號 昭和 18 年 11 月

---

## 役 員 會

---

### 第 9 回理事會（昭. 18. 9. 13.）

出席者： 黒河内會長， 潤淵理事外 4 名， 中村書記長， 小野寺庶務主任外 1 名

#### 報 告

1. 東北支部第 6 回總會記事
2. 北海道支部第 2 回役員會記事其他
3. 中國四國支部役員異動
4. 文部大臣へ本會事務所々在地改稱届提出

#### 議 事

1. 潤害調査委員會委員に青木楠男君（副委員長），桑原竹二君（特別委員）を依嘱することとせり
2. 戰時規格委員會事務幹事に逸見正則君を依嘱することとせり
3. 編輯専任書記として上田經藏君を採用することとせり
4. 北海道廳土木試驗所へ土木學會誌第 29 卷第 9 號以降を寄贈することとせり
5. 資源科學研究所に對し同所刊行物と土木學會誌を交換することとせり
6. 稲田，安藏兩君に對し會長名を以て弔詞を呈することとせり
7. 鳥取市を中心として起きたる地震に關し鳥取地震調査委員會を設置し調査研究を進むることとせり，而して委員長に吉田徳次郎君を依嘱し委員の選定は委員長に一任することとせり
8. 飛行場急速建設に關する應募論文に對する懸賞金は下記の通りとせり

- |           |     |
|-----------|-----|
| 1 等 500 圓 | 1 名 |
| 2 等 200 圓 | 3 名 |
| 佳作 50 圓   | 若干名 |

9. 入退會を別記の通り承認

### 第 8 回常議員會（昭. 18. 9. 27.）

出席者： 黒河内會長，岡崎常議員外 6 名，眞田前會長，小野寺庶務主任外 2 名

#### 報 告

1. 關西支部第 5 回役員會議事
2. 8 月中入退會別紙（省略）

#### 議 事

1. 對爆調査委員會委員に次の諸君を依嘱することとせり  
根來幸次郎君，河原清一郎君，登川圭一君
2. 飛行場急速建設の新構想を懸賞募集することとし理事會原案の通り決定せり
3. 鳥取地震調査委員會を設置し委員長に吉田徳次郎君を依嘱することとせり
4. 入退會を別記の通り承認

---

## 總 務 部 記 事

---

### 第 13 回建設機械研究委員會（昭. 18. 9. 21.）

出席者： 谷口委員長，本間第 2 部委員長，伊藤委員外 4 名，宮澤囁託，黒河内會長，小野寺庶務主任

#### 協議事項

1. 水越達雄君轉任に付後任委員として野瀬正儀君を，追加委員として川村満雄君を依嘱することとせり
2. 従來本邦に於て餘り使用せられざりし建設機械の型錄編輯に關し日本學術振興會第 55 委員會より是れありたるに付之を本委員會の一事業とすることとせり

而して本事業は下記委員の擔當とすることとせり

- (イ) 土工機械の解説に關する事項… 松村，伊藤尾之内各委員  
(ロ) 牽引車を使用する土工機械に關する事項… 松村，尾之内兩委員

3. 外國に於ける建設機械の水準調査は目下各委員に於て調査中なるも之が促進を計る目的を以つて各部門より下記各委員を頼し毎月定期的に會合を開くこととせり

港灣關係	内 林委員
河川關係	尾之内委員
鐵道關係	村 山委員
道路關係	松 村委員
堰堤關係	伊 藤委員

尙水準調査は本年中に完結せしむることを申合せたり

4. 水準調査方法に就いては先づ外國製品の寸法及

能に關する調査を行ひ之に對し調査委員の總括的を附することゝせり

第 42 回對爆調査委員會（昭. 18. 9. 23.）

出席者：釘宮委員長、田中委員外 4 名、黒河内會長、小野寺庶務主任

議事項

- ・淨法寺委員提出の 1-3-1 爆風の科學的解明、による逐條審議を行ひたり
- ・委員に根來幸次郎君、河原清一郎君（鐵道）、登一君（海軍）を依嘱することゝせり
- ・防空土木施設に對する具體的檢討を行ふことゝ（回更に協議することゝせり）

第 43 回對爆調査委員會（昭. 18. 9. 30.）

出席者：釘宮委員長、奥田委員外 4 名、黒河内會長、小野寺庶務主任

議事項

- ・防空土木施設に對する具體的問題に就き意見のを行ひ次回各委員の腹案を持寄り協議することゝ
- ・淨法寺委員提出の 1-3-1 爆風と窓硝子（ゲラ）に對する審議を行ひたり

第 44 回對爆調査委員會（昭. 18. 10. 7.）

出席者：釘宮委員長、河上委員外 4 名、小野寺庶務主任

議事項

- ・河上委員提出の 1-3-1 窓硝子補強に對する訂正並に 1-3-6 高射砲彈と防空用兜、2-2-1 監視哨撃要領並に其の用法に就ての（ゲラ刷）に對する審議を行ひたり
- ・防空土木施設に對する具體的問題に關し協議せ

調査部記事

第 3 回戰時規格特別委員會（昭. 18. 10. 6.）

出席者：青山委員長、田中特別委員長、吉田特別委員外 4 名、菊池幹事外 2 名、逸見事務幹事、谷口前會長、黒河内會長、中村書記長、小野寺庶務主任

議事項

- ・田中特別委員長より第 1 次審議事項答申案、第 1 針、第 2 要領、(1) 既設構造物の活用、(2) 新設物の計畫並に實施、第 3 措置、別紙（省略）に就

き説明を行ひ慎重審議の結果田中委員長に於て之を成文し各委員に廻付して最後の意見を求むることに決定せり

編輯部記事

第 9 回會誌編輯委員會（昭. 18. 10. 5.）

出席者：福田委員長、須之内、五十嵐、岡本、杉戸、星野、本間、最上、丹羽各委員、鹽谷、内村各嘱託、上田編輯書記

1. 第 29 卷第 9 號登載原稿謝禮原案通り決定
2. 第 29 卷第 9 號登載論文討議依頼先決定
3. 原稿審査報告及第 29 卷第 12 號登載原稿決定
4. 會告に就て審議決定

關西支部記事

第 5 回役員會（昭. 18. 9. 11.）

出席者：高橋支部長、中原商議員外 7 名、柴田君、中川主事

議事

1. 第 14 回土木工學研究に關する件
2. 昭和 18 年關西大會に關する件
3. 鳥取地方震害調査報告に關する件

華北支部記事

役員異動

退任評議員 秋山和夫君、石田二郎君、片岡謙君、平松頼夫君

新任評議員 松尾正二君、武井外一君

日本工學會記事

第 9 回評議員會（昭. 18. 9. 16.）

1. 庶務事項報告
2. 會計報告別紙（省略）

その他の記事

土木學會誌第 29 卷第 10 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり

## 入會及轉格會員

## 特別會員

大倉土木株式會社北京出張所	西田真一郎	松本一郎	3級
株式會社鹿島組北京營業所	中津光藏	土屋圓藏	近石傳三郎〃
華北鑿業股份有限公司	加藤内藏助	守能邦人	望月藏六2級
華北電業股份有限公司	内藤熊喜	松本龜司	1級
住吉組	中井清枝		2級
臺灣製糖株式會社	覽干城夫		〃
臺灣ゼニスパイプ株式會社	木村泰治		3級
日本製鐵株式會社技術研究所	俵國一		〃
株式會社西松組北京支店	永原修次	片山久平	〃
株式會社間組臺北事務所	片岡萬藏	堀彌八	3級
株式會社間組北支支店	立田貞介	高橋末治郎	飯田房太郎〃
株式會社福昌公司	大田政一	川口達郎	小松盛次郎〃

## 正會員(入會)

石川廣松	小野川佑	木練榮二	貴島元保	栗城熊三	小泉會虎
小松中一	阿部啓	秋山虎次郎	飯塚進	磯部初太郎	今田辰之
内山保	野繁	大島誠知	大塚源十郎	長田瑞穂	所住正
田中太郎	田中昌	永野幸之丞	林畠末吉	福田範二郎	日野正
守谷五郎	百眞敬	元義繼	藤堂齊	宮二郎	
松原信博	宅忠	崎山	山崎		

## 准會員(入會)

安樂伴彦	二介	郎四郎	淺田輝男	尾力雄	英城
穴井康實	正俊	郎吉平	伊藤儀治	正硕鈞	田治勝
宇上勤茂	岩啓	茂達	大河原正雄	永宏	下良源
木村勳	小嶋次	武子	野原正雄	茂義祐	烟川貞
櫻千葉	原健	林儒	和田齊	三梅	橋親
中野口	代喜	張長	陳長助	武時	門門
田松吉	新口	久留	深澤太	右衛門	根茂
祖父江	高利	山山	船山	金石	內藤森
正衡	利正	越谷	越本	有澄	楊利
	統之	清之	曉尤	上榮	
		助好	良田		
		好一	直		
		孝郎			
		好一			
		好一			

## 學生會員(入會)

金粕正敏 星川勳 廣瀬弘行 吉川與五郎

## 正會員(轉格)

勅使川原政雄

准　　會　員　(轉　　格)  
田中平治郎

土木學會會員數 (昭. 18. 9. 12. 現在)

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合　　計
4	4 650	6 671	2 506	201	25	14 057

正會員 岩岡武博君は昭和 18 年 10 月 5 日逝去せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 倉知良造君は南方に於て戦死せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 中田富二君は南方海上に於て戦死せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 久野重一郎君, 西岡利八君, 原田長綱君, 村申達次君の訃報に接す  
本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准會員 佐藤 導君は昭和 18 年 4 月 28 日比島方面に於て戦死せられたり  
本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准會員 田中正信君は戦死せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼  
の意を表したり

准會員 別府丈夫彦君, 村瀬 章君, 鶴田宗雄君の訃報に接す 本會は恭し  
く哀悼の意を表す

# 圖書雜誌

第29卷第11號 昭和18年11月

## 雜誌(交換)

土木溝洲	第3卷第4號	滿洲土木學會
旅順工科大學紀要	第16卷第1,2號	旅順工科大學會
港灣	第21卷第8號	港灣協會
熔接協會誌	第13卷第7號	熔接協會
建築雜誌	第57輯第700號	建築協會
水道協會雜誌	第124號	水道協會
日本機械學會誌	第46卷第317號	日本機械學會
衛生工業協會誌	第17卷第7號	衛生工業協會
電氣學會雜誌	第63卷第661號	電氣學會
汎交通	第44卷第9號	帝國鐵道協會
都市問題	第37卷第3號	東京都政調查會
工學と工業	第11卷第7號	日本工學會
工業國策	第6卷第8號	工政會
道路の改良	第25卷第9號	道路改良會
運動力	第16卷第4號	日本動力協會
別冊	67.8	

工業化學雜誌	第46編第545號	工業化學會
土木工業	第5卷第8號	土木工業協會
技術評論	第20卷第8號	日本技術協會
建築と社會	第26輯第9號	日本建築協會
日本建築士	第33卷第2號	"
化學機械	第7卷第2號	化學機械協會
日本鑄業誌	第59卷第701號	日本鑄業會

## 雜誌(寄贈)

雪水	第5卷第9號	日本雪水協會
海洋の科學	第3卷第9號	日本海洋學會
地震	第15卷 第3,4,5,6,7號	地震學會
帝國學士院紀事	第19卷第7號	帝國學士院
工業現勢	第12卷第5,6號	東京工業大學工業調查部
セメント工業	第33卷第490號 第33卷第491號	セメント工業社
鑄物	第15卷第5號	日本鑄物協會

東京港	第7卷第8號	東京港振興會
會務彙報	127號	日本土木建築業組合
名古屋工業會報	231號8月號	名古屋工業會
利根	第9卷第8號	利根地下工業研究所
三菱電氣	第19卷第8號	三菱電氣株式會社
資料公報	第4卷7,8月號	國立中央圖書館處備
進步	第5,6號	臺灣技術協會
土木技術	第4卷8,9號	土木技術社
學術報告	第1卷第2號	新京工業大學
日立	第6卷第8號	日立製作所
製鐵技術總覽	第3卷第7,8號	日鐵技術研究所
會務彙報	第126號	日本土木建築工業組合聯合會
熔鑄爐熱勘定研究會報告	(3),(4)(鐵と鋼)29年8月號附錄	日本鐵鋼協會
朝鮮鐵道協會會誌	第22卷第7號	野村龍太郎
滿洲建築雜誌	第23卷第8號	滿洲建築協會

## 『總目錄』

陸運科學	第1卷第3號	陸運協力會
電氣協會雜誌	第260號	電氣協力會
大和	8月號	陸運協力會
土木雜誌	8月號	土木雜誌社
建築技術	第3卷第24號	在滿陸軍建築技術團
東芝研究時報	第18卷第8號	東京芝浦電氣株式會
實業教育	第5卷第8號	實業教育振興中央會
セメント統制會	第1卷第5號	セメント統制會
鐵道技術研究所彙報	第6號	鐵道省鐵道技術研究所
學報	第12卷第1號	東京工業大學
土木技術	第4卷第9號	土木技術社

## 圖書及パンフレット

天津特別市公署公用處行政工作暨事業計畫彙刊

(民國30年8月)

盧鼎玆

# 既刊会誌残部内譜

(昭. 18. 11. 現在)

(\* は残部有るものと示す)

巻 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額(1部) (円)
6	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
10	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
18	—	—	*	*	*	*	*	*	*	—	—	—	1.00
19	*	*	—	*	*	—	—	*	*	—	—	*	1.00
20	—	*	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	1.00
21	—	*	*	—	—	*	—	*	—	—	*	—	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	*	—	—	—	*	*	*	—	*	—	1.00
24	*	*	*	—	—	—	*	*	—	—	—	—	1.00
25	*	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	—	1.00
26	*	—	*	—	—	*	—	*	—	*	*	*	1.00
27	—	*	—	—	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
28	*	*	—	—	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
29	*	—	—	*	*	—	*	*	—	—	—	—	1.00
第 20 卷第 12 號(創立 20 周年記念號) .....													1.50
第 21 卷第 7 號(会誌索引付) .....													1.30
大正十二年關東大地震震害調査報告書(1, 2, 3) .....													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書													1.20
同 上 解 説													
土木工學論文抄錄第一輯 .....													3.50
土木工學論文抄錄第二輯 .....													5.00
土木學會誌索引(第 1 卷第 1 號～第 20 卷第 12 號) .....													0.50
土木工學用語彙 .....													2.50

上記残部会誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16828 番にお拂込み下さい。